

新善光寺寺報 北 縁

2018年5月

Vol. 38

ほくえん

特集

月参りについて
新納骨堂に新たな展開が

ぎよき えいたいし どうほうよう
御忌・永代祠堂法要のご案内

6月17日(日) スケジュール

- 午前 10 時～ 合葬墓前にて法要
(納骨されている全精霊位様をご回向します)
- 午前 11 時～ 講話 (右ページ参照)
………… 昼食休憩(お参りの皆様に昼食を用意しています) ……………
- 午後 1 時～ 本堂にて御忌・永代祠堂法要

「御忌」とは簡単にいうと浄土宗を開かれた法然上人の法事のことです。

命日は1月25日で、現在はあたたかくお参りしやすい4月に全国のお寺でおこなわれておりますが、新善光寺では北海道の気候を考えて6月におこなっております。

阿弥陀様を信じて南無阿弥陀仏と唱えれば必ず救済を受けて平和な毎日を送り、浄土に生まれることができるという方民救済の教えを広め残してくれたことに感謝する法要です。

また併せて永代祠堂法要もおこなっております。本堂須弥壇の上に位牌札をお祀りし、毎日順繰りに回向しております。この法要ではお祀りしている全ての精霊様を一斉に回向・供養いたします。

新善光寺では随時、永代祠堂を受け付けております。

永代祠堂
一霊位様二十万円



本堂での法要



合葬墓前での法要

講話

ナニワの寺事情と浄土宗の作法

大阪大通寺 住職 太田 寛隆 師



(大阪府天王寺区)

昭和 24 年 9 月 13 日 生まれ

昭和 47 年 浄土宗教師資格取得

昭和 49 年 北海道大学文学部国語国文科卒

平成 18 年 大通寺第 28 世住職叙任

平成 25 年迄 大阪明星学園国語科教諭

今回は親善光寺住職のいここである太田寛隆師が、大阪のお寺事情をユーモアを交え、コテコテの大阪弁でお話をいたします。また浄土宗の作法や、お寺を使った葬儀や法事などについてもお話いただきます。

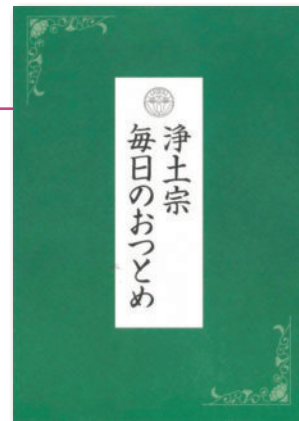


〈特別展示〉

新善光寺所蔵の法然上人絵伝をこの6月17日に一日限りで展示します。

〈進呈〉法要に参詣いただいた各家様には『浄土宗 毎日のおつとめ』をお渡しします。

文字が大きく、読みやすい1冊でさらにお仏壇や仏事の作法についても解説されています。これさえあれば日々のお勤めから浄土宗のお作法まできちんと身につくかと思えます。



つきめいにち 月参り (月命日) について

1月25日に亡くなった方であれば、毎月25日が月命日に当たります。その月命日に、お寺から皆さまのご自宅におうかがいし、お仏壇にお参りさせていただくことを **つきまい** 月参り といいます。

月命日は、亡き人を偲ぶ日であるとともに、自らを見つめ、今を問い直す日でもあります。平安時代の歌人である和泉式部は、お子さんを亡くした直後に次の歌を詠んでいます。「子は死して たどり行くらん 死出の旅 道知れぬとて 帰りこよかし」愛しい我が子が亡くなり、死出の旅に出てしまった。その道のりがわからないからといって、私のもとへ帰ってきてはくれないだろうか…。という悲嘆に満ちた歌です。しかし、和泉式部は、悲しみの日々を送りながらも、さまざまな人に出会い、仏さまの教えを聴く中で、「夢の世に あだにはかなき 身を知れと 教えてかえる 子は知識なり」という歌を残しています。知識とは、仏教語で人に生まれてきたことの真の意味を教えてくれる人という意味です。和泉式部は、お子さんの死を通して、自身を深く見つめ、今を生きる人となったのです。

忙しい日常のなかで、ほんのわずかな時でも、亡き人を偲び、自らを省み、今を切に生きることを目指す月命日のお勤めを大切にしたいものです。

お参りを通じてお檀家様と交流を持つことは、お寺とを繋ぐ大事な役割で大変ありがたいことだと感じています。



お申込みはお電話またはホームページ上の問い合わせフォームから可能です。新善光寺では通常、お参りに行く際は前日にお電話にて時間をお伝えします。

① 檀家さんのお宅へ

この日は中村嘉人様のご自宅へお参りに行きました。



② お勤め

浄土宗の「日常勤行式」に則ってお参りします。お念仏は是非ご一緒に。



③ お檀家様との交流

奥様も交えお話をしました。お寺の行事のことや次のお参りのことなどの話も。このようなお檀家様とお話からもお寺づくりの参考に大いにさせてもらっています。話に花が咲きついつい時間を忘れてしまうこともしばしばです。



新善光寺では主に以下のお坊さんが、お参りに伺っております。



おおた しんかい
太田 真海



そうかわ しんしょう
宗川 信章



たちばな しゅんぶ
立花 俊輔



おおた こうけん
太田 光顯



ほりうち かずき
堀内 和紀



のぎき こうし
野崎 幸史



まつお いっし
松尾 一志

新納骨堂に絵を飾りました!!

新納骨堂に飾る絵を紅露はるか様に制作をお願いしております、今春完成し、正面横に2枚飾らせていただいております。紅露様は新善光寺総代の富樫様の娘様であり、また先日は大丸百貨店で個展を開催されるなど非常に活躍している作家さんでもあります。



時の輪がめぐる場所



月が満ちる時

今回、新しい納骨堂の絵を制作するにあたり「納骨堂は亡くなった人を想い、対面できる場所」という気持ちを持って取り組ませていただきました。

「**時の輪がめぐる場所**」というタイトルは時間が流れるというより、亡き人との時間を思い返す、「時間がめぐる」というイメージでつけました。

「**月が満ちる時**」は人の一生が終わる時、それは長くても短くても不足なく「満ちる」という言葉がしっくりくるように感じています。

満月の後、再び新月に向かう月の満ち欠けが輪廻と重なり、命には限りはあるけれども何かと永遠につながっているような。

そういう希望を持ってタイトルを選びました。

制作を開始した時、昔から死者の化身とも言われている蝶のイメージがまず浮かびました。そして2枚の絵はもともと紫陽花の模様のある布に描いています。

以前から紫陽花の色の移り変わりが、常に変化し続けていく小さな宇宙のようだと感じており、今回布を選びました。

絵の中にある白い舟はあの世とこの世の境界を渡る乗り物。空の果てへ向かう蝶たちを白い舟が導いていく情景を描きました。

ここを訪れる人の心に寄り添える事が出来れば幸いに思います。 (紅露はるか)

紅露はるか プロフィール

札幌市生まれ／北の日本画展会員

日本画は「紅露はるか」で、イラストは「とがしはるか」で活動

札幌芸術の森美術館にてバッチ・マスキングテープ、

北海道立近代美術館でポストカード・バッチ・絵本を販売中

HP：<http://harukaharu.fc2web.com/>

十一面観音について

新納骨堂には正面に十一面観音菩薩像を安置しております。お参りされる方は一様に優しく美しいお顔だとおっしゃっています。

さて、十一面観音菩薩は観音菩薩の変化身の「六観音」と呼ばれるお姿のひとつです。

「病氣治癒」「財福授与」「延命」「極楽往生」などの現世・来世でのご利益があるとされ、頭上には十一のお顔を持っております。表情にはそれぞれ、我々を励まし、戒め、悪行を滅し、悟りの境地へ誘うという意味があります。



安置している十一面観音菩薩も、様々な功德をもたらす本尊として奉り、ご納骨されている精霊様をお浄土へ導く願いが込められています。



移動式スロープを導入しました!!

このたび移動式スロープを用意しました。これにより玄関と新納骨堂の段差も解消され、車イスをご利用の方でも快適にお参りができるようになりました。

また、車イス2台も貸し出しできます。どうぞ、ご利用希望の方はお申し出ください。



お知らせ

仏教講座が進化しています

毎回好評をいただいております仏教講座ですが、通常の「写経」に加えて4月から「お子様向けの習字教室」を同時開催しております。正しい座り方や書き方などもお坊さんが一緒におこなっています。

是非、お子様やお孫様とご一緒にご参加ください。ご参加のお子様にはささやかなプレゼントを用意しております。

平成30年6月23日(土) 午後2時開始
実加料 500円 (新善光寺セレクトのお菓子付き)



7月28日(土)、8月25日(土)、9月22日(土) 以降毎月第4土曜日におこないません。7月は「写仏」をおこなう予定です。

寺院を巡る旅に出かけてみませんか

今年も秋に日帰り寺院参拝ツアーをおこないます。行き先は決定ではありませんが美唄方面を予定しております。このツアーにはお寺の内庭までじっくりみることができるといった特徴があります。どうぞ、ご参加ください。

(予定) 平成30年10月4日(木)
参加費5,000円 (昼食付)



※行き先として予定していた新善光寺元職員の石山祐道師の長万部・善導寺様は改修工事予定のため、来年の参拝を考えております。



今年も鴨々川ノスタルジアを開催します

～着物ですすきの寺町をそぞろ歩きしましょう～

第5回鴨々川ノスタルジア

日時 平成30年9月7日(金)～9日(日)

今年で第5回目になりますが、またまたパワーアップして帰ってきました。

メイン会場は従来の新善光寺・東本願寺・中島公園に加えて成田山新栄寺も新たに加わります。今回は「お坊さんのファッションショー」もおこない、大好評の内に幕を閉じましたが、今年も色々な場面でお坊さんが登場する予定です。どうぞ、ご期待ください。



〈新善光寺会場〉

- | | | |
|---------|------|----------------------|
| 9月7日(金) | 18時半 | 「札幌芸者衆の踊りを見る会」 |
| 8日(土) | 19時 | 「本堂で怪談朗読会」 |
| 9日(日) | 時間未定 | 「篠笛演奏会」「着物ファッションショー」 |

詳しくは

鴨ノス

検索

お寺で源氏物語を

昨年7月に本堂でおこなった「京ことば源氏物語」の第2弾が10月におこなわれます。

チェンバロの演奏も織り交ぜた絶妙な空間に酔いしれること間違いなしです。開演時間やチケット情報などは次号にてお知らせします。

源氏物語 古典から現代へ
平成30年10月27日(土)



出演 明 楽 みゆき様
山下 智子様
五十嵐 いおり様

東大寺と法然上人

修学旅行で奈良の東大寺を訪れたという方もおられるでしょう。学生の頃、それほど神社仏閣に興味はなかったが、今あらためて歴史ある寺社に心惹かれるという声も聞きます。東大寺の歴史は、およそ1300年ほどです。そのなかで、浄土宗の宗祖・法然上人（1133～1212）も登場します。今回は、法然上人と東大寺の関わりを中心に、東大寺の悠久の歴史から感じられるものを味わいたいと思います。

法然上人が48歳の時、治承4年（1180）に平重衡^{たいらのしげひら}が兵を挙げ、東大寺に火を放ちました。大仏殿は焼け落ち、多くの人々が亡くなりました。朝廷は、東大寺を再建するため、法然上人にその復興を統率する役目の大勧進^{だいかんじん}の職を依頼しました。しかし、法然上人は「比叡山の中樞を離れ、出世街道をのがれて黒谷に住んだことは、静かに仏さまの道を求め、ひとえにお念仏を申すためでした。もし、東大寺再建のお役目に就けば、多忙になり私・法然の生涯の目的からそれてしまいます…」と、大勧進の職をかたく辞退されました。そこで、法然上人は12歳ほど年上の重源上人^{ちゅうげんしょうにん}を東大寺大勧進の職に推挙しました。重源上人は、精力的に東大寺再建のために奔走し、焼失からおおよそ10年後に、建設中の東大寺に法然上人をお招きしました。その際、法然上人は、浄土三部経の講義をされました。

ところで、絵本作家の加古里子^{かこし}さんは、『ならの大仏さま』の中で次のように述べています。「ならの大仏の歴史は、利害や欲望に誤りやすい人間が、迷いや悩みをすこしずつのりこえてきたことを示す貴重な跡といえるでしょう。正しい人とはどのようなことにはげむ人のことであり、美しいとはどんなことにいそしむ人のおこないをさすのかを、この1300年の大仏の歴史から学ぶことができると思います。ですからこの本『ならの大仏さま』を過去の事件の記録として見るのではなく、これからさまざまな分野で活躍するあなたの道しるべにしていきたいと思います。それが青銅の大仏を“ならの大仏さま”とよんで親しんできた人びとの、切なる願いであったと私は思うからです。」

1300年ほどの東大寺史上において、地震で大仏さまの頭部が落ちたこともあり、人の手によって焼かれたこともあります。その度に再建され、現在私たちも東大寺



建設中の東大寺で講説する法然上人
(当山蔵法然上人絵伝)

に参詣でき、大仏さまを拜むことができます。法然上人が830年ほど前にお参りした東大寺の大仏さまを、今私たちも拜することができることは、感慨深く、尊いものを感じます。加古里子さんがおっしゃるように、東大寺の歴史、ひいては日本の歴史を千年単位で考え、私自身がその歴史に培われてきたことを肝に銘じ、まさに「道しるべ」にしたいものです。〈文：立花俊輔〉

ズッコケ尼さんの仏教こぼれ話⑱

〈桜の若さと儂さに接して〉

こまきね きんしょう
駒木根 琴生



5月。木の根元がはっきり穴があく根開きが北国に待ちわびた遅い春を運んできた。春彼岸の期間中、熊本と天草で光栄なる法話の場を与えられた。あちこちで桜を見て、一足先に春を感じさせて頂いた。天草での事。私の部屋のベランダ横の桜は、着いた17日にはまだ蕾だった。日に日にふくらみ満開になった。三日目の朝、時鳥の鳴く声で目が覚めた。カーテンを開くと「ホーホケキョ」と、まるで恋人同士の様なつがいの姿を見た。朝陽に映えて若さが伝わってきた。二日間雨が続く、すっかり散ってしまった。その儂さを背に熊本へ向かった。

熊本は亡き長男が、小学6年になる春休みに九州一人旅を果たした思い出の地である。息子は熊本城の前のホテルに泊まった。私がおそのホテルに泊まるのはもう六度目である。今回は特別な思いの滞在だった。一昨年4月14日、熊本大地震から2年目だ。あの日、テレビで見ていた熊本城は見る間に崩れだし、角石柱一本で支えられる状態となった。今回、実際に見て呆然とした。震度7の現実を知った。復旧中の現場の足場や白いテントでお城は囲まれ痛々しかった。しかし、桜は負けじと満開だった。ピンク色の光景は、今でも仮設住まいの4万人弱の人々へのエールと捉えた。

札幌に帰宅して荷物を開けると、桜の一片が入っていた。改めて、熊本の知足寺さん、天草の無量寺さんの檀信徒さん達の熱いまなざしも入っていた。私の心は感謝で満ち溢れた。

西行法師の言葉に「日本人が特に桜に心が弾むのは、そこに若さと儂さがあるから」とある。23歳で出家して現世の執着を捨てたが、桜への執着は捨て切れなかった西行法師は桜の歌を多く詠んでいた。その一つ



花を待つ 心こそ尚 昔なれ 春には疎く なりにしものを
桜を待つ気持ちは変わらないけれども、人の世の春に疎遠となるのは、老い故という歌に自らの老いを投影している。お釈迦様の入寂に憧れていた西行法師は、

願わくは 花の下にて 春死なん その如月の 望月の頃

の辞世の歌の通り、お釈迦様と同じ陰暦二月の満月に死去。73歳の生涯を終えた。墓所は、千本の桜が植えられている様だ。

4月、吉永小百合主演の「北の桜守」を観た。吉永さん演じるてつさんは、苦難の戦後を越えて、夫の残した桜を守る強い母親だ。小椋佳作の「花・蘭」のエンディングが耳に残った映画だった。

桜ばな 命いっぱい 咲くからに 命をかけて 我眺めたり

シリーズ 仏事のおはなし

お勤めのはなし ⑩

今回からは、「流通分」という次第の中では最後の部分に入っていきます。一般的に流通分とは、経典を三つに分けたときの一つで、読んで字のごとく、流れ通じることで、広く行きわたることを意味します。浄土宗では流通分をお勤め締め部分と位置づけしています。

今回皆さんにおはなししているプログラムでは、「総願偈」「三唱礼」「送仏偈」の三つの偈文についておはなしします。

・ 総願偈

「総願偈」は別名「四弘誓願」とも言います。四弘誓願とは、一般的に大乘仏教において、全ての菩薩が如来になるべく道を求めるとき、最初に立てる四つの誓いのことを言います。宗派によって多少文言が異なりますが、趣旨は同じことを指しています。

いつも様に偈文を書き下してみましよう、今回は取りまとめた方がわかり易いと思うので、意訳も付けて下記に示します。

【総 願 偈】（●は鈴の位置）

しゅ じょう む へん せい がん ど
● 衆 生 無 辺 誓 願 度 ●

(衆生は無辺なれども誓って度せんことを願う)

(この世の人々は数えきれないほどにたくさんいますが、必ず悟りに導くことを誓います。)

ぼん のう む へん せい がん だん
煩 悩 無 辺 誓 願 断

(煩惱は無辺なれども誓って断ぜんことを願う)

(煩惱は限りなく我々を苦しめますが、必ず迷いを断つことを誓います。)

ほう もん む じん せい がん ち
法 門 無 尽 誓 願 知

(法門は無尽なれども誓って知らせんことを願う)

(仏のみ教えは数限りなくありますが、必ず学び、知り尽くすことを誓います。)

む じょう ぼ だい せい がん しょう
無 上 菩 提 誓 願 証

(菩提は無上なれども誓って証せんことを願う)

(み仏の悟りの道はこの上もありませんが、必ず体得することを誓います。)

じ た ほう かい どう り やく
自 他 法 界 同 利 益

(じ た ほう かい り やく おなじ
自他法界利益を同うし)

(私も他の人々も同じように利益を受けて)

ぐ しょう ごく らく じょう ぶつ どう
● 共 生 極 楽 ● 成 仏 ● 道

(共に極楽に生じて仏道を成ぜん)

(皆ともしどもに極楽に往生して、悟りへの仏道を成就することを目指します。)

・ 仏道修行の目的と誓願

前述のとおり、「四弘誓願^{しごくせいがん}」とは全ての菩薩が如来になるべく道を求めるとき、最初に立てる四つの誓いのことです。菩薩とは仏道修行者のことを指し、如来とは真理を悟ったものを指します。仏道修行を行う際、修行する者は皆「誓願」というものをたてます。誓願とは、仏となるための修行を行う上での「誓い」です。そして修行者である菩薩は、仏道修行に励み、その誓願を成就することを目指します。修行が終わる時、誓願も成就して仏となれます。

仏道修行の目的とは、言わずと知れた「成仏＝仏となる」ことです。その成仏の為に必要なものが「誓願」なのです。

誓願は、仏道修行者に共通の「総願^{そうがん}」と、仏道修行者ごとの意志によって個別にたてられる「別願^{べつがん}」に分けられます。以前「四誓偈」のおはなしの際に阿弥陀仏さまが修業時代（修業時代は法蔵菩薩という菩薩です）に四十八の誓願を立てられたという事をお話しましたが、これは全ての菩薩の誓願ではなく阿弥陀さまの誓願ですので「別願」となります。

それに対して「総願」は菩薩皆に共通するものです。それがこの総願偈の最初の四つ句です。

・ 極楽往生と悟りへの誓い

さて、改めてこの総願偈を見ますと、最初の四つの句は「四弘誓願」という菩薩の総願であり、五句目は、六句目はそれらの誓願を成就し、皆共々に仏と成ることを目指すという内容になっています。私たち浄土宗徒は、この世で人生を終える時、お念仏の功德によって極楽世界へ往生すると説いています。成仏というのは、お浄土へ往生した後の仏道修行によって成りますので、最後の二句はその時の目標となります。

全ての人々が仏と成るため、極楽浄土への往生がまずは肝要という事になります。お浄土へ往生の後には、この総願偈にある文言の内容を私たちの誓願とし、皆さままで成仏を果たせるようにとの思いを込めお称えしたい偈文です。

東京だより

霊源寺をご存知ですか？（前編）

この「ほくえん」でも何度かお知らせしておりますが、新善光寺には東京都品川区に別院があります。その名は“霊源寺”で、納骨堂も併設されています。

創建は不祥ですが、江戸時代初期の僧侶「霊源」和尚（1666年没）が開いたといわれています。元々は「火葬寺」「茶毘寺」と呼ばれていて落語の「黄金餅」という噺にも火葬場として名前が出てきます。



彼岸法要（左が中村、右が副住職）

最寄り駅は山手線では「五反田駅」、東急目黒駅では「不動前駅」と至極便利な立地条件でありまして先日札幌在住の新善光寺のお檀家様の息様が東京に住んでいるということからこの霊源寺でご法事をおこなったというケースや、東京近郊在住のお檀家さまのところにもご希望があればお盆参りや月参りなどにもうかがっております。

- ・お寺で法事ができます。
- ・東京近郊でのお葬儀にもお伺いします。
- ・お盆参り・月参りなどもお任せください。

常駐しているのは山口県出身の中村という僧侶で、また新善光寺のお盆の手伝いをいただいている高瀬という僧侶も顔を出しております。

非常にアットホームなお寺であります。東京に旅行で行かれた際などにもお参りいただければと思います。

どうぞ、新善光寺東京別院「霊源寺」をよろしく申し上げます。

また霊源寺は本堂改修工事を5月下旬から8月下旬までおこなう予定です。後編は新しくなった本堂を中心に紹介したいと思います。



〒142-0063
東京都品川区荏原1丁目1番2号
TEL 03-3494-1083

霊源寺

検索

— お檀家タウンページ ~ともいき訪問⑭—

きん すい
錦 翠

錦鯉の色鮮やかでロマンあふれる世界へ

今回は白石区平和通りにある錦鯉の飼育・販売の専門店に行ってきました。

平和通を通っていると大きな錦鯉の立体看板が目につきます。先日TVでも取材されていて非常に中が気になるお店です。ご主人の高橋宏昭さんと奥様にお話を伺いました。

38年前にお店を始められ、白石に移ってきたのは平成2年。当別に養殖池があり、シーズン(5月下旬)になるとお店の中の生簀にいる沢山の錦鯉がそこに移動するとのことでした。

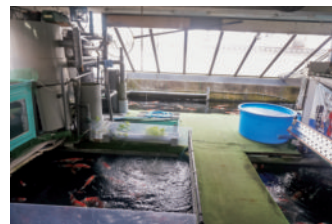
錦鯉のお店を始められたきっかけは、新聞に掲載されていた「錦鯉お譲りします」の記事で、そこからこの道へ進み新潟で厳しい修行を経て現在に至ります。前職が左官屋さんだったことで、池作りもご自身で設計・施工されているというので驚きです。

店の生簀には300匹ほどの錦鯉がおり、年齢ごとに分けられています。一番大きな鯉は90cmほどの親鯉で20~30万匹の子どもを産むのだそうです。錦鯉の魅力は育てることで、最初は数万円で買った鯉が成長して賞を取るクラスになると数千万円の値が付きます。

また、成長が早く1シーズン経過すると、これ自分の鯉? とびっくりされる方もいるそうです。寿命が長く20~30年ほど生き、長い鯉では45年というのが過去にいたとのこと。最近では若い人も買われることが多くなっているとのことでした。

とても親切にお話をしていただき、また、写真を撮りやすいようにと餌をあげて集めてもらいました。錦鯉を買う時も懇切丁寧に相談に乗ってくれること間違いなしです。最後には私も飼いたくなってきました(笑)

どうぞ、ロマンあふれる錦鯉の世界へ足を運んでみませんか。



札幌錦翠
さっぽろきんすい

〒003-0028
札幌市白石区平和通3丁目南2-9
TEL. 011-863-5961



清璋寺のご紹介①

今回は改めまして清璋寺のお寺の中をご紹介します。



仏像編

①阿弥陀如来坐像

清璋寺の本堂に安置されています阿弥陀如来像です。床から測ると3mにもなる大きなご本尊さまがいつも私たちのことを見守ってくださっています。



④呑龍上人像

呑龍上人像は、川越蓮馨寺にご安置されているお像の御分身です。

(関東周辺では、安産や子供の成長を願い「子育て呑龍さま」として信仰されています)



②納骨堂安置 阿弥陀如来立像

本堂の阿弥陀様が座像なのに対して納骨堂の阿弥陀様は立像です。

やわらかな顔とやさしい色合いが特徴の阿弥陀様です。



⑤法然上人掛け軸



③地藏尊像

本堂にはお地藏様もお祀りしています。



⑥善導大師掛け軸



新善光寺の歴史を刻んだ本堂と清璋寺の現代のニーズに合わせた本堂を比較してみるのもいかがでしょうか。

ぜひお近くにお越しの際はご参りください。

今後のスケジュール

〈8月11日(土)：お盆法要 9月24日(月)：秋彼岸法要〉

〒006-0005 札幌市手稲区西宮の沢5条1丁目19-35
TEL 011-668-5110 FAX 011-668-5111

お寺の掛軸を紹介します⑩

16 当山蔵 法然上人絵伝 第四幅

下の図は、法然上人（1133～1212）が、75歳のときの室の泊（現在の兵庫県たつの市御津町室津）での出来事を描いたものです。その当時、室の泊は、大変栄えた港でにぎやかなところがあったようです。法然上人が乗っている船に、一艘の小船が近づいてきました。それは遊女の船でした。遊女は、「法然上人の船と知っ
ていながら、さしでがましくも参りました。この世の中を渡る道はそれぞれです。私はどんな罪があったのか、このような身に置かれています。こんな私が、どうしたら命終わった後、救われることができるのでしょうか。」と問いました。すると、法然上人は、「もし、今のなりわいを辞めて生活できるのであれば、すぐに
そうしましょう。ほかに生活するすべがなければ、ただそのままに
て、ひとすじにお念仏
申しましょう。阿弥陀
さまは、そのような自
らの罪と向き合う人の
ために、大いなる誓い
をお立てくださったの
ですから……」とお説
きになりました。



〈特別展示します!!〉

3ページでもお伝えした通り、法然上人絵伝を6月17日（日）の1日限りで特別展示します。この機会を見逃さず、ぜひお足を運びください。

※展示期間 6月17日（日）9時～15時まで
（2階水蓮の間）



慈啓会から

慈啓会総合相談室より

当法人は早くから高齢者の医療と健康、そして生活を支えるために、7つの施設と1つの病院を運営してまいりました。近年では認可保育園も開設し、様々なニーズに応えることを使命として、日々努力しているところです。



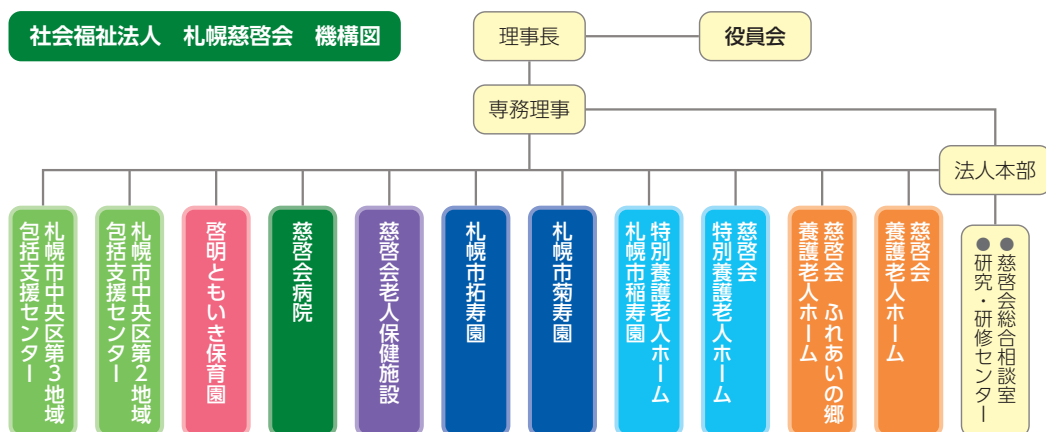
複数の施設を運営していることから、「どんな時に相談してよいかわからない」、「どんな人が対象になるのか判らない」と言った声が以前より聞かれることがありました。そこで、困っている人が法人内外のどこに相談すると、解決出来るのかを一緒に考える場所として、平成20年に総合相談室が誕生しました。総合案内を主な業務として、出来る限り相談に応じております。

現在2名の相談員が常駐で相談に当たっておりますが、こんな時はどうしよう、どこに聞いたらいいかわからない時は、遠慮なくお問い合わせください。

実際に新善光寺のお檀家様もお寺を通して当相談室にお問い合わせがあり、老人保健施設や慈啓会病院などに入っていたいただいた例などが多数ございます。

微力ながらお手伝いさせていただきます。

〈慈啓会総合相談室〉
フリーダイヤル 0120-83-8291



北縁 なんでも Q & A

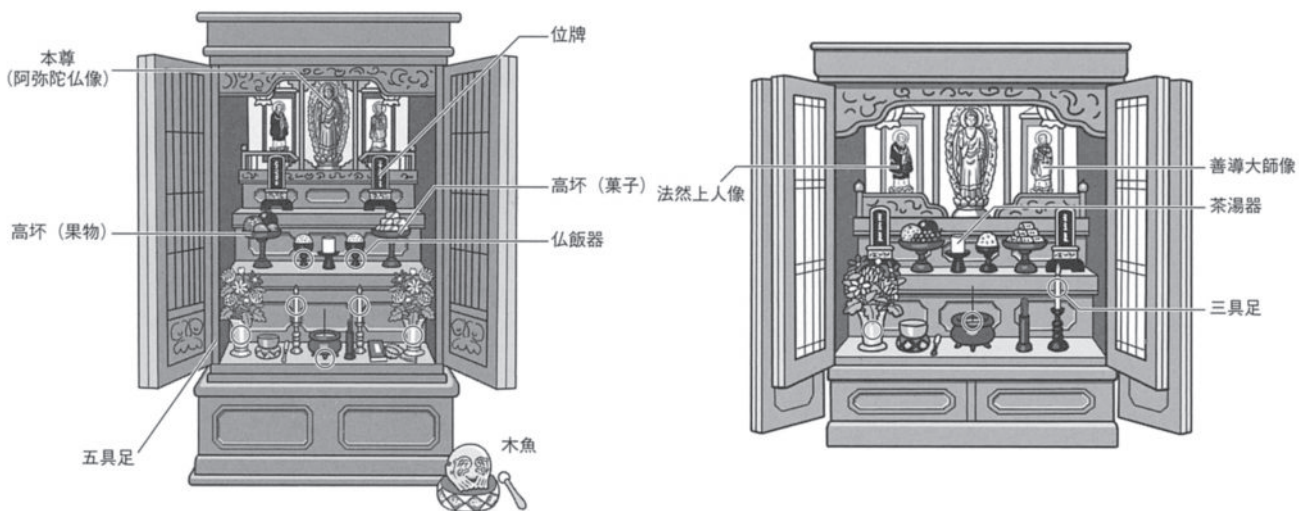
いつもご投稿ありがとうございます。前回のアンケートハガキには、「今までにお寺の行事に参加したもの」についてのアンケートをお願いしました。お答えいただきました皆様、ご協力ありがとうございました。お答えいただいた大部分の方は、お盆やお彼岸のように直接ご先祖様へのご供養に関わる法要にはお越しいただいているようです。お寺では他に、浄土一宗の法要も執り行っております。この寺報でも都度ご案内していますが、どの法要も大切な意味合いの法要ですので、どうぞご家族そろってお参りください。

Q 仏壇の扉は開いたままでいいのでしょうか？

A これはよくある質問で、回答としては「基本は開扉してください」です。お仏壇はご本尊やお寺のお荘厳を家庭でおまつりできるようにしたものです。お寺のご本尊は厨子とよばれる仏具に納められているものもありますが、基本は扉がついている場所に安置はしません。ですので、昔の仏壇は部屋に作り付けのもので、扉もないものが多かったと言われていました。また、現代の仏壇の扉は「お荘厳」という飾りの意味合いもあります。

仏壇はお寺同様そのご本尊様にお給仕をし、お勤めを行う自らの信仰の場となります。阿弥陀様への信仰とは、常に私たちが照らすその光明をいただき、安穏な人生を送っていくものですので扉を閉めてしまうと、そのお慈悲が頂戴できなくなってしまいます。

お部屋をお掃除する時はほこりが舞い上がりますから、仏壇の中に入らないように扉を閉める方がいいと思います。



仏壇の祀り方の例①

仏壇の祀り方の例②

しろいし幼稚園から

すくすく育つほとけの子

今年も新善光寺学園しろいし幼稚園の園児が元気にお寺にお参りに来ました。

しろいし幼稚園では“ほとけさまの教え”を通じ子ども達が「人」として生きていく上



で最も大切な、**生命尊重、慈悲心、感謝の**

心、正しい道徳性(モラル)の芽生えを育てる仏教保育の実践に努め、開園以来多くの“ほとけさまの子ども”を育てております。



学校法人新善光寺学園 しろいし幼稚園

〒003-0028 札幌市白石区平和通1丁目南6番16号

TEL 011-861-4426 FAX 011-866-0707 Email siroisi-pippara.ed.jp

新善光寺今後の予定 (6月～10月)

6月17日(日)	御忌・永代祠堂法要	9月23日(日)	秋彼岸の法要
7月25日(水)	13時：慈母観音菩薩供養会	10月4日(木)	日帰り秋の寺院参拝旅行
8月1日～15日	ご自宅へのお盆参り	仏教講座：6月23日(土)、7月28日(土)、	8月25日(土)、9月22日(土)
8月16日(木)	お盆の法要	いずれも午後2時開始	
9月7日～9日	鴨々川ノスタルジア		

編集後記

今号も無事になんとか発行することができました。いつも通り盛りだくさんの内容となっており、多くの方にご覧いただけると幸いです。またご感想も是非お待ちしております。私事ですが、我が子もすくすくと育っております。幼稚園園児の参拝を見て、あっという間に大きくなるのだろうなと思いました。お寺での行事の際には登場するかもしれませんので、その時はよろしくお願いたします。

(真海)

新善光寺

検索